



あすなろ

札幌市立中央中学校 進路だより

第31号

令和6年10月21日

～for the realization of your dream!～

推薦受験について

「推薦受験」を検討している人もいることと思います。が、推薦受験は合格の保証、優先権ではありません。その「推薦」という言葉から合格確実なイメージがあるかもしれませんが、推薦受験でも内定しない場合もあります。私立高校では、推薦で内定できるのは学習点(ランク)が〇〇以上の場合のみと提示している学校もあります。また、「推薦受験」には、「学校(長)推薦」と「自己推薦」があります。いずれの場合も、その学校で学びたいという意思と明確な理由がなければ安易に推薦を希望してはいけません。たとえば北海道の公立高校の推薦受験の出願資格に以下のような説明があります。

- 出願先高等学校のスクール・ポリシーを理解し、自らを各学校が示す「入学者の受入れに関する方針」に合うと考えている者で、出願する動機及び理由が明確であるもの
- 当該学科に対する適性、興味・関心及び学習意欲を有する者

また、学校(長)推薦の場合、本校では以下のような手順と基準で推薦者を決定します。

◎手順

- ・第4回進路希望調査をもとに、担任と推薦受験について相談する。
- ・推薦希望者の受付
(11月上旬、推薦希望者が推薦依頼書を提出、詳細は後日お知らせします)
- ・3学年教師による検討
- ・校内推薦委員会による検討
- ・校長による面接(12月上旬) 推薦候補者確定

◎基準(概要)

- ・その高校を出願する動機及び理由が明確な者、当該学科に対する、適性、興味、関心及び学習意欲を有する者
- ・その高校へ進学することを第一希望とし、合格したら必ず入学する意思のある者
- ・各校が示す「推薦を期待する生徒」に合致する者
- ・中学校生活において生活面・行動面で規範的な生活を心がけている者
(日常生活、授業への取組等において、意欲的であり、まじめである者、服装、態度、日常の言動、物事への取組等が模範的である者)
- ・学校生活を中心とした諸活動において、優れた実績のある者
(生徒会、委員会、学校行事、奉仕活動、部活動等で積極的に活動し、自分の責務を果たしたり、リーダー性を発揮した者 また、校外活動において、優れた活躍をし、実績を残した者)
- ・中央中学校の推薦生徒として、自覚をもって高校生活の3年間を意欲的に過ごせる者
- ・入学者選抜試験を受けても、十分に入学できる学力を有している者。学習点(9教科評定)や学力テスト等の得点力を考慮します)

上記の推薦基準から総合的に判断しますので、一つの項目のみに合致するだけでは推薦候補者にはなれないことがあります。

私立高校の推薦には、専願、単願のように、合格基準が下がり合格しやすくなる例はありますが、「合格しやすくなるため、楽に合格したいから、本番の試験に弱いから」などの安易な考えで推薦を希望してはいけません。

推薦受験実施校

◎札幌市内、近郊の主な公立高校

◆自己推薦受験実施校（高校名は略称）

札幌啓成、札幌北陵、札幌手稲、札幌丘珠、札幌西陵、札幌白石、札幌東陵、札幌真栄、札幌英藍、札幌白陵、札幌国際情報、江別、野幌、大麻、千歳、北広島、当別、札幌工業、札幌琴似工業、札幌東商業、石狩翔陽、札幌厚別、札幌旭丘、札幌藻岩、札幌平岸、札幌清田、札幌新川、札幌啓北商業、札幌大通

◎私立高校（推薦実施校の状況）

◆学校長推薦（高校名は略称）

北海学園札幌、北海、北星学園札幌
東海大学附属札幌、札幌創成、札幌静修
文教大附属、札幌龍谷、札幌北斗、
北星学園女子、酪農学園大とわの森
小樽明峰

◆自己推薦（高校名は略称）

札幌光星、札幌第一、札幌山の手、札幌日大
北照、立命館慶祥

推薦試験は実は楽ではありません。通常の受験でも合格できる実力を付けると同時に、出願資格に合致した自分の考えを明確に文章にしたり、面接試験でしっかりと考えを伝えるための準備を行わなければいけません。担任と十分な相談をしてください。

学力テストBを終えて

～教科担任の先生から～

【数学科】 達口聡美 先生より

少しずつ日頃努力している成果が出てきているように感じる人が多いです。日常の授業での集中はや課題への取組はもちろん、「学習しよう！」という学級や友人たちの気持ちのつながりが、今後とても重要です。仲間とともに、目標を達成していこうとする機運がさらに高まると伸びていきます。日頃の家庭学習は、復習を重ねてください。難しい問題を解くことも良いですが、基礎的な問題を絶対に取れるという自信も大事です。苦手な分野（一次関数・確率・空間図形が苦手…という声が多いかな？）の基本的な問題を何題もやって自信をつけましょう。数学は、暗記がほとんどないので、脳のリフレッシュに役立ちますよ。日コツコツと、繰り返し覚えながら表現の引き出しを増やしていきましょう。

【理科】 高橋伸充 先生より

今回、点数が伸びた人が多いです。これは、まずは皆さんの力が向上してきたためです。しかし、前回の学力テストAに比べるとやさしめの問題が多く出題されていました。ですので、AとB2回の平均が自分の力であると捉えるのが良いと思います。今回も記述式では、内容が不十分であったり、説明が不適切だったりして失点している傾向があります。2問1の「蒸留水を使用するのはなぜか？」と問われているので、「蒸留水を使うのは、…」と問題文を利用した記述をすると日本語の内容がぶれません。なんとなく表現するのではなく、主語、述語をはっきりさせ、読む人が理解できる明確な文を書くように心がけましょう。

